

自己評価報告書

平成23年3月31日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20320106

研究課題名（和文）

室町期～明治維新时期丹波国山国地域における百姓と天皇の関係に関する研究

研究課題名（英文）A Study of the Relation between Hyakusho and Tenno at Yamaguni Area in the Province of Tanba from the Muromachi Period to the Meiji Restoration

研究代表者

坂田 聡（SAKATA SATOSHI）

中央大学・文学部・教授

研究者番号：20235154

研究分野：日本中世史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：山国荘、百姓、天皇制、宮座、由緒、官途成り、名主役、山国隊

1. 研究計画の概要

本研究では、(1) 民衆にとって天皇・朝廷とはどのような存在であったか、(2) 民衆は天皇の権威をいかなる形で利用することによって、地域社会の秩序を構築したか、という二つの課題について、中世・近世を通じて天皇家との結びつきが強かった丹波国山国地域をフィールドにとり、由緒書、官途成り、公事、名主役、山国隊という五つのテーマに分けて検討した上で、その成果を総合し、一定の結論を導き出す。

2. 研究の進捗状況

本研究の柱としては、(1) 現地調査による史料の収集、(2) 収集した史料のデータベース化と読解、(3) これらの史料にもとづく考察、という三つの作業があげられる。各々の進捗状況は、以下のとおりである。

(1) 現地調査による史料の収集

現在までのところ、山国神社文書、鳥居家文書、辻家文書の調査と写真撮影はほぼ終了している。だが、高室家文書、護国神社文書については、なお若干の補充調査と写真撮影の作業が残されている。また、新出の広瀬家文書については、事情があって原文書を中央大学に送付し、作業を進めることにしたが、写真撮影だけでなく、調査も半分程度残されている。

(2) 収集史料のデータベース化と読解

収集した史料のうち、山国神社文書、鳥居家文書、辻家文書については、データベース化の作業もほぼ完了し、研究の遂行に必要な文書の読解作業も順調に進んでいる。高室家文書、護国神社文書に

関しても、逐次、データベース化の作業と読解の作業を行っている。

(3) 史料にもとづく考察

本研究で収集した史料と、すでに活字化されている史料とを用いて、研究テーマに関する考察を深める。具体的には、①由緒書、②官途成り、③公事、④名主役、⑤山国隊の5チームに分かれ、各々の担当テーマについて、責任者を中心に検討を加えた上で、全メンバーによる研究会も逐次開催することにより、総合的な考察を深めている。その研究成果に関しては、研究代表者の坂田（中世・近世前期担当）と研究協力者の吉岡（近世後期・近代担当）の共著『民衆と天皇』（高志書院刊）として公表する予定であり、他のメンバーの協力も仰ぎながら、現在、執筆を開始している。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由) 現地調査に思いのほか時間をとられているものの、調査済み史料のデータベース化や読解の作業は、おおむね順調に進み、これらの史料を用いたテーマごとの考察も、期待される成果をあげている。

4. 今後の研究の推進方策

史料の補充調査を必要な範囲で行った上で、調査済み史料のデータベース化と読解の作業を、アルバイト等も用いて、今まで以上にスピードアップして進める。そして、各テーマに関する研究と、それにもとづく総合的な考察を、さらに深めていく。

最終的には、これらの研究成果をもとにした坂田・吉岡の共著『民衆と天皇』を、できるだけ早く刊行したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計5件)

- ①吉岡 拓「近現代における山国隊像の変遷」、山国荘研究会、2010年11月20日、京都府立ゼミナールハウス
- ②岡野 友彦「修理職領から禁裏領へ」、山国荘研究会、2010年11月21日、京都府立ゼミナールハウス
- ②上相 英之「山国荘地域における民俗調査の概要と、科研費研究課題とのかかわり」、山国荘研究会、2010年5月22日、川崎市多摩市民館
- ④藪部 寿樹「村落内身分の地域分布と開発」、山国荘研究会、2009年11月21日、京都府立ゼミナールハウス
- ⑤坂田 聡「山国地域史のあらましと研究の軌跡」、山国荘研究会、2009年8月26日、京都府立ゼミナールハウス

[図書] (計4件)

- ①坂田 聡、高志書院、『中世後期・近世前期の家と村社会』、2011年、320頁
- ②吉岡 拓 (研究協力者)、校倉書房、『19世紀民衆の歴史意識・由緒と天皇』、2011年、396頁
- ③藪部 寿樹、高志書院、『日本の村と宮座』、2010年、171頁
- ④坂田 聡編、高志書院、『禁裏領山国荘』、2009年、540頁